

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)(案)

令和8年1月22日

協議会名:高知市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー確保維持計費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社さくらハイヤー	鏡地域デマンド型乗合タクシー (区域運行)	<p>＜前回の評価結果の概要＞ 利用者や事業者からの聞き取り等により、さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに、利用者減少の要因を精査しつつ、目標達成水準の維持を目指す。</p> <p>引き続き、新規利用者獲得に向けた取り組みも継続する。</p> <p>＜評価結果の反映状況＞ 地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取、事業者との定期的な意見交換を行った上で、引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり、生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで、利便性の向上と新たな利用者の獲得、収支率の改善を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	<p>【目標達成率】 ○利用者数:87.0% (目標:1,180人/年) ○収支率:100% (目標:15%以上) ○公的資金投入額(高知市負担額):99.5% (目標:2,541千円以上)</p> <p>【利用者数】1,027人/年 (対前年比:83.0%) (対前々年比:87.1%) 【1便あたり利用者数】1.15人 【収支率】15.0% (対前年比:93.8%) (対前々年比:98.7%)</p> <p>利用者数及び公的資金投入額が目標を下回った主要因は、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。 (運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。)</p>	他市の事例を研究しつつ、利用者や事業者に聞き取りを行う等、新たな利用者の獲得と利便性向上を目指す。

株式会社第二さくら交通	土佐山地域デマンド型乗合タクシー（区域運行）	<p>＜前回の評価結果の概要＞ 利用者や事業者からの聞き取り等により、さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに、利用者減少の要因を精査しつつ、目標達成水準の維持を目指す。 引き続き、新規利用者獲得に向けた取り組みも継続する。</p> <p>＜評価結果の反映状況＞ 地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取、事業者との定期的な意見交換を行った上で、引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり、生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで、利便性の向上と新たな利用者の獲得、収支率の改善を図った。</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	<p>【目標達成率】 ○利用者数：85.5% （目標：3,970人/年） ○収支率：106.7% （目標：9%以上） ○公的資金投入額（高知市負担額）＝：96.5% （目標：9,735千円以上）</p> <p>【利用者数】3,393人/年 （対前年比：94.4%） （対前々年比：85.6%） 【1便あたり利用者数】1.23人 【収支率】9.6% （対前年比：103.2%） （対前々年比：104.3%）</p> <p>利用者が目標を下回った主要因は、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。（運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。） なお、土佐山学舎の通学便も集約しているが、地域間幹線バスとの乗り継ぎを想定していないダイヤ設定のため、各目標値及び実績値からは除外している。 （※令和7年度の通学便の利用者は5,501人。）</p>	他市の事例を研究しつつ、利用者や事業者への聞き取りを行う等、新たな利用者の獲得と利便性向上を目指す。
-------------	------------------------	--	---	---------------------------	---	--